

平成23年度第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成23年5月30日(月) 午後5時から午後6時20分まで

場 所 東金市役所 3階 第1委員会室

出席した委員

石渡徹男	東金市議会議員
井上 肇	千葉県保健医療担当部長
氏原 強	千葉県病院局佐原病院事務局長
大矢吉明	九十九里町議会議員
近藤俊之	(社)全国社会保険協会連合会顧問
田畑陽一郎	山武郡市医師会会長
樋口幸一	公認会計士
松永敏子	(社)千葉県看護協会会長
宮崎 勝	千葉大学医学部附属病院長
森本雍憲	水田宗子 学校法人城西大学理事長代理者

(敬称略、五十音順)

欠席した委員

佐野勇一 (株)千葉ぎん総合研究所経営コンサル第一部長

出席した関係者等

志賀直温	東金市長
川島伸也	九十九里町長
平澤博之	理事長
事務局	東金市医療センター推進課 鶴岡参事、加藤主査補 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 石原看護部長、原田事務部長、高宮参事、鶴岡課長、太田課長、 大池副課長、竹内副主幹、古川主査、戸田主査補、増田主査補、 大塚主査補、行木主任主事

会議概要

近藤委員長あいさつ

志賀東金市長あいさつ・新委員紹介(宮崎委員・井上委員)

平澤理事長あいさつ

議事

- (1) 平成22事業年度業務実績報告に対する意見聴取について
- (2) 財務諸表に対する意見聴取の方針(案)について
- (3) 平成22年度財務諸表に対する意見聴取について

その他

- (1) 次回評価委員会の日程調整等について

開会（午後5時）

司会 本日は、お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。只今から平成23年度第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を開催いたします。審議に先立ちまして、佐野委員より欠席のご連絡をいただいております。また、水田委員の代理として城西大学学長 森本雅憲 様にご出席いただいております。そのほかの委員におかれましては、出席していただいておりますことから、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会共同設置規約第7条の規定に基づき、過半数の委員の出席により評価委員会が成立していることをご報告申し上げます。報道機関の写真撮影についてですが、傍聴要領に基づき予め委員長の許可を得ておりますことを併せてご報告申し上げます。これより次第に沿って会議を進めてまいります。まずはじめに、近藤委員長さんよりご挨拶をお願いします。

委員長 近藤でございます。本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。昨年度は皆様方のご熱心なご協議により、秋に独立行政法人東金九十九里地域医療センターが発足いたしました。第1年度が終了したことでありますことから、本日はお手元の資料にありますように、第1年度の評価を行うことになっております。予定では26年に開業するというところで動いておりますことから、皆さんにご協議、ご審議をいただき、本日の会議よろしくをお願いいたします。

司会 ありがとうございます。続きまして、東金市長よりごあいさつを申し上げます。

東金市長 本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、また、夕方のお疲れの時間にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。構成団体であります東金市と九十九里町を代表いたしまして私からごあいさつを申し上げます。地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターにつきましては皆様方の絶大なご支援とご協力をいただきまして、今、お話がございましたように昨年10月1日に設立し、本年3月に初めての決算を迎えることができました。この間の3月30日には、千葉大学と東金九十九里地域医療センターの間で千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターに関する協定が締結され、医師確保に躍進いたしましたこと、また、医療センターの基本設計、用地の取得等順調に事業が進んでいるということで現状あるわけでございます。本日の評価委員会につきましては、独法の東金九十九里地域医療センターの決算による事業実績報告及び財務諸表が提出されておりますので、評価委員の皆様のご意見、評価を賜わるものでございます。また、本年4月付けで評価委員さんにつきまして交代がございましたので、私から新委員の紹介をさせていただきます。まず、千葉大学医学部附属病院の河野元院長先生のご退任によりまして、宮崎新院長先生に評価委員をお願い申し上げたところでございます。（宮崎委員あいさつ）次に、千葉県健康福祉部長の戸谷様に替わりまして、千葉県保健医療担当部長の井上様に評価委員をお願い申し上げたところでございます。（井上委員あいさつ）それでは、本日の議案につきましてご審議賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

司会 宮崎委員、井上委員の委嘱状はお手元に置いてございます。次に、平澤理事長よりごあいさつをお願いいたします。

理事長 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの理事長の平澤でございます。まず、

今日はお忙しい中、評価委員会にお集まりいただきありがとうございます。宮崎先生と井上先生にはこのたび評価委員にお加わりいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。先ほど市長も申しあげましたように全体としては中期計画に則って、ロードマップどおりに事は進んでいると私どもは思っておりますが、評価をしていただくにしても、医業収入がないところで、色々整えているところでございます。そして、全体としては、先ほど申し上げたようにロードマップどおりに行っているのかなというふうに思っておりますが、お手元でございます業務実績報告書及び財務諸表をよくご吟味いただいて、7月の評価委員会で厳正な評価をしていただいて、我々はまたその評価結果に則り、さらに良い医療センターを目指していきたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。ともあれ、まだ先はあると思っていたのですが、ついに3年を切りまして、あと2年10カ月ぐらいでオープンしなければいけませんので、我々、地方独立行政法人の職員はもちろんのこと東金市、九十九里町の職員の方達や業者の方達との連携を密にして頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。これより議事に入りますが、議事の進行は評価委員会共同設置規約第7条第1項の規定に基づき、近藤委員長さんをお願いいたします。

委員長 それでは、皆様のご協力をいただきまして議事を進めてまいりたいと思います。法人が昨年設立されましてこの3月で決算を迎えたわけでございます。今日はこの評価委員会におきましてこの2月9日の評価委員会で決定した事業実績についての評価基準に基づいて、議案第1号の平成22事業年度の業務実績報告に対する意見聴取を行います。今日はこの実績に対する意見をいただきまして、取りまとめをして次回の評価委員会におきましてご承認をいただきたいというふうに考えておりますのでご自由にご意見をいただければと思います。議案第2号及び3号につきましては、平成22年度財務諸表に関することとございまして、議案の第2号としましては財務諸表に対する意見聴取の方針（案）につきましてご承認いただき、この方針に基づき第3号議案平成22年度財務諸表に対する意見聴取でご意見をいただくということとでございます。第1号議案の評価基準につきましては、すでに2月にご承認いただいたということとでございます。第2号議案につきましては、財務諸表をどのようにということの方針を決めていただいて、それに基づいて第3号議案のご提出いただいた財務諸表に対する意見をいただくということとでございます。本日、ご審議いただきます、業務実績報告に対する評価結果、財務諸表につきましては、今後、設立団体の議会への報告もありますことから、今日の審議に入る前に今後のスケジュールについて事務局からご説明をいただきたいと思っております。お願いいたします。

事務局（市） 「資料1 これまでの経過と今後の予定」の内容説明。

委員長 ただいま今日の会議の位置付け及び今後のスケジュールについてご説明ありましたが、何かご質問ありますか。《質問なし》

委員長 それでは、このような流れで進めさせていただきます。それでは議題に入ります。議題第1号の平成22事業年度業務実績報告に対する意見の聴取についての審議を行います。事務局から説明をお願いいたします。

事務局（独法） 「別紙1 平成22事業年度業務実績報告書」の内容説明。

委員長 昨年度、皆様方にご議論いただいて承認していただきました年度計画がございまして、

この年度計画に基づいて自己評価、何を具体的にしたかということに記載して、そしてそれについて評価の対象になるものはすべて5段階の3ということで達成できたということが全体的な内容かと思います。個々の実際の内容につきまして、今、ご説明があったわけですが、それを含めましてご質問、また、付け加えるべき点がございましたら、いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

委員 確認ですが、この評価というのは何段階評価なのでしょうか。3段階評価なのか5段階評価なのかどちらでしょうか。

事務局（市） 委員のみなさまに配布してございます、資料2ですが、こちらが2月に決めました評価基準でございまして、5段階評価でございます。5が年度計画を上回って実施、4が年度計画をやや上回って実施、3が年度計画を予定どおり実施、2が年度計画を十分には実施できていない。1が年度計画を大幅に下回る。このような基準でございます。

委員長 今回、まだ事業といってもここでいきますと、計画を実際に設置に向けての色々な作業を計画どおり、それぞれ予定どおりに実施しているということになったかと思いますが、細かいとこでいくとはたしてそれでいいかというご意見もあるかとおもいますが、何かございましたらお願いします。

委員 11ページの先ほどご説明いただきました地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの看護師養成機関学生奨学金支給制度というのは、すでに制定されているというふうにご説明いただきましたけども、その内容等はホームページ等でご紹介されているのでしょうか。

事務局（独法） これは各病院がよくやられているのと同じものでございまして、法人としての看護師確保策としての奨学金でございまして、市のホームページあるいは独法のホームページで申込みまでできるように全てできております。月額7万円の奨学金ということで設定しております。

委員長 大きな項目の1については、先ほどお話がありましたが、設計からすべて実施されており、医師会等の協議も着手されており、2になりますと業務運営の効率化ということになりますので、これはまだまだこれから進めて行くというようなものになっているかと思えます。あと、3になりますと財務内容になりますけども、これも同様ということで、今回はたぶん1のところがこのとおりであるということが1番のポイントでなるかと思えます。また、財務につきましては、このあと、次の評価基準のところを少しお話をいただきたいと思っております。ご意見ございますでしょうか。

委員 6ページの用地取得の番地なのですが、実際に取得した番地と計画の番地が違いますけれど、どういういきさつで違うのか。このような取得状況で運営には影響はないのですか。

事務局（独法） 6ページの中の（1）のところに7番1の一部ということで書いてございますが、実は用地取得するまでに地権者様のほうでこの土地を分筆していただいて、7番3ということで、現実的に計画上みている土地は同じなのですが、分筆して一部を買い取ることの想定でしたので、買い取ったほうが7番3ということで7番1のほうは大きな土地ですので、地権者様がもともと持っている土地ですので、分筆の関係でこのような表記になったとご理解いただきたいと思えます。計画上の場所は変わっておりません。予定どおりの場所でございます。

委員長 他にいかがでございましょうか。

委員 6 ページ（4）のところで病院の本棟の設計は次により行うということで、このたびの東日本大震災に伴って、色々基本設計の中でかなり震災についての設計がされたということで、わたしはかなり評価しても良いのではないかとということで、ここでは3という形になっていますけれども、やや上回って実施されたということで4ぐらいの評価をつけてもいいのではないかと思います。

委員 私は全体的には賛成ですが、たぶん事務局案のほうはどうしても遠慮しがちに3という形で出されていると思いますが、いわゆる4に近い3と2に近い3、項目別に率直に言っていただいて、我々の判断の参考意見としてお聞かせいただければありがたいと思いますが。

委員長 委員からご意見がありましたように全体をとおして事務局は平均的に特にこの大項目の1のところだと思いますが、3ですがその自己評価で4に近いのか2に近いのか言える部分がありましたらお願いしたいということですがいかがでしょうか。

理事長 全体として3です。数字としてあるものより、ものすごく計画をオーバーしてできたというような客観的評価がなかなか難しい項目がございますので、全体としては3かなというふうに思っております。我々は努力した結果、計画どおりいったというふうに思っておりますが、数字としては計画どおりだから3ということでご理解いただいて、あとは、委員の方達が厳しく厳格に評価していただければ良いのではないかと思います。これは2に近い、4に近いというのは言いづらいところがございます。

委員長 結局、オンスケジュールで行っている場合には3、できるだけ早くということで開院が早まってということであれば、やや上回って4ということであるかもしれませんが、計画段階であれば基本的には今、理事長の話にありましており3なのかなというような感じもしますが、確認をしたい個所があれば皆様のご質問をいただきたいと思います。

委員 11 ページの（4）のところですが、看護師確保、豊富な経験を有する非常勤職員を採用し、平成23年度に向けた制度設計の準備を進めたということなんですが、準備の関係はどのくらい現在進んでいるのか、具体におしえていただければと思います。その次の5ですが支援対策問題のところですけども、これは県のほうからも協力いただいて、近隣市町村に働きかけたということで承知はしておりますが、どの程度の内容をあるいは、どの程度の照会ができていいのか状況を教えていただければと思います。

委員長 2点ありますのでそれぞれお答え頂きたいと思います。

事務局（独法） まず、看護師の確保については、この3月までは看護部長が就任しておりませんので、看護の関係が分かっている職員がほとんどいない状況の中で、この臨時職員の方が看護部長が就任してきて、恙なく、例えば奨学金の制度設計だとか色々和我々と一緒に中身の検討をしていただいたということで、23年度に向けた下準備をやってくれたという趣旨でございます。それから次の医師会、他地域との連携につきまして、これは病院自体が自分で勝手にできるものではございませんので、結局、非常に行政的な要素も強いものですから、他地域への働きかけをするための色々な資料作成等につきましては、法人として説明用の資料のデータを提出して、行政側、県、市側が色々行う上でバックアップしたということで、これについて、今の段階で法人が直接出張するというのではなく、あくまでもバックアップしたという趣旨でございます。

東金市長 　ただ今の件はここにも書いてありますとおり、医療圏内への市町村への説明ということで、これは22年度ですが、今の状況は昨日の段階で一応夷隅圏域まですべて説明まで終わったという状況でございます。補足的にまだ他のところに説明を伺うこともあろうかと思いますが、おしなべて、現状こういう形で今、私共は建てようということで計画を進めております。このような説明プラス3次救急への支援ということについても、こういう考え方でいかがでしょうかということで進めてきております。これはほとんど構成団体と千葉県でやってきているということです。以上です。

委員 　6ページ(4)のところにある病院本棟の設計、その中の3つ目に医療用防災倉庫の併設とありますけれども、その実施のほうでは災害に備えという言葉がついてあるんですけども、この規模というのは、災害時の病院の備えというのか、救急センターとしての外向けの災害備蓄を含めた、どの程度の規模の備蓄を検討されたのか。

委員長 　基本設計のところでは何か説明ができましたらお願いしたいのですが。

事務局(独法) 　こちらに書いてございます、防災備蓄倉庫につきましては、いわゆる災害時用のストックも考慮した倉庫ということで基本設計の段階で計画いたしました。

委員 　病院の機能を維持する上での備蓄ということで考えてよろしいでしょうか。

事務局(独法) 　ある程度、災害ですから時間を設定してこれぐらいの量は必要であろうということやっております。

委員 　15ページの中項目2の財政負担の原則ということでありますが、土地取得の件でありますけれども初期投資として土地と建物といろんな医療器具というものがあると思いますが、その初期投資額を低く抑えたいと思います。土地で9億5百万円位使っています。平米数が80,059㎡ですか、これを坪数に直しますと24,269坪という計算になります。そうしますと坪単価37,311円という形なんですけど、現在、東金の土地はだいたい14・5万から20万で売っている中で、たしか、2年前坪単価6万ということで聞いていたのですが、それがさらに下がって4万を切るというのは、これは評価として限りなく4に近い評価であると思うのですがいかがでしょうか。そういう意味では立派な交渉したなと思っております。

事務局(独法) 　土地については、かなり交渉しました。それで、まず鑑定をして、鑑定額をベースに交渉したわけですが、この場所というのは斜面緑地がそこそこ多い場所ということで有効利用できる面積に対して、斜面緑地が多いので全体面積で割り返してしまうとかなり安くなってしまいますけど、確かにこの土地については地権者様のほうとしては不動産もやりますから、社内的な相場感というのは持っていらっしゃって、それに対して我々が鑑定して出した数字というのはもう少し安かったんで、かなりその辺は交渉したうえでこの値段で落ち着いたということで、特別割引があったわけではございませんが、それなりにこちらから交渉して安くするための努力はしたということでございます。

委員長 　確かに他は数字がありませんけどもここだけあきらかに予定を上回ってもいいのかなと思いますけれども、委員はこういう数字ありますけどもいかがですか。

委員 　そうですね。これは感覚的に言えば4で個人的にはいいと思いますが、要するに10億円の予算が9億だったということで、これはかなり努力をされているということで、このあたり予定より年度計画をやや上回っているということで4で個人的にはいいと思います。

以上です。

委員長 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは今頂いた意見を踏まえて事務局のほうで今後の評価結果書を作成していただいて、次回にもう一度皆さんにご確認いただくということにしたいと思います。委員の意見もありましたので、1ヶ所ぐらい4があってもいいのではないかと思います。次に第2号議案に移りたいと思います。第2号議案は財務諸表に対する意見聴取の方針ということでございます。この後出てくる財務諸表に対してどのような観点から意見を聴取、こちらの立場から申しますとどのように出すかということでもあります。それでは事務局から説明をお願いします。

事務局（市） 「別紙2 財務諸表に対する意見聴取の方針（案）」の内容説明

委員長 今、ご説明ありましたように確認の内容ということで、財務諸表の内容については、数値の細かい部分にあたっては監事が監査をしてくださっていますので、出てきた大きな数字について、果たしてこれでどうかということもありますが、重要なのは合規性、表示内容の適正性ということかと思いますが、委員このところで何かありますか。

委員 それでは、事前にこの財務諸表を私のほうで検討させていただきました。検討した結果、ただ今の別紙2の財務諸表に対する評価委員会としての意見聴取の方針、まず、合規性の問題、表示内容についての検討、現在別紙3としてご提出されております、財務諸表につきまして検討をさせていただきました。検討の結果、いろいろ質問事項も事前にお聞きしまして、回答をいただいて検討した結果、私の意見として見た範囲では合規性の問題、表示内容の適正性につきましては特に問題ないと判断いたしました。この財務諸表は非常にわかりづらいものであると思います。独立行政法人の財務諸表は、これはよほど経理の詳しい方でも非常にわかりにくい。そういうことで非常にわかりにくいと思いますが、今回は取引もあまりなく、現在の財務諸表の提出されているものについては、特に問題ないと判断いたしました。以上でございます。

委員長 ただ今、委員のほうから意見聴取の方針については、これでよいと、更に皆さんに確認して頂く提出された、別紙3の財務諸表についても現在のところ問題ないであろうということまでご意見いただきました。まず、別紙2の意見聴取の方針、ここでは細かい内容というよりは、合規性の提出期限とか、書類がきちっとあるかどうか、監事の監査報告書にあたって、こういう意見があるかどうか、表示内容の適正性になると、中に入ってきてここだけで見るということは、委員のお話のように非常に難しいのですが、聴取の内容につきましては、こういうことでということですので、これについては何かありますか。

委員 一般的に医療法人は2カ月後が事業年度報告になっていますが、そういう中で独立行政法人は3カ月がということなのでしょうか。

委員 独立行政法人は法律で3カ月以内に提出ということになっておりまして、通常の医療法人とは違う形になっております。

委員長 よろしいでしょうか。よろしければ、まず別紙2の聴取の方針についてはこの方針でいきたいということでご了解いただけますでしょうか。《委員承諾》ありがとうございました。それでは、次の議題の平成22年度の財務諸表についてご説明をお願いします。

事務局（独法） 「別紙3 平成22年度財務諸表」の内容説明。

委員長 ただ今、平成22年度の財務諸表の説明をいただきましたが、この財務諸表につきまして

で何かご質問、ご意見ありますか。

委員 5ページのキャッシュフローのところですけど、3番の財務活動によるキャッシュフローのところでは長期借入金で905,500,000円があります。下に10,000,000円の金銭出資の受入れによる収入がありますが、前の貸借対照表と比較すると905,500,000円は長期借入金ということでわかりますが、この1千万円というのは流動負債の未払い金の中に入っているのですか。それとも、どこからか持ってきているのでしょうか。

事務局（独法）金銭出資の受入れによる収入これにつきましては、昨年の10月1日独立行政法人設立の日には東金市及び九十九里町より出資をしていただいた1千万円でございます。長期借入金の9億550万円につきましては、土地を買うための長期借入金でございます。以上でございます。

委員 1千万円は貸借対照表のどこに入っているのですか。

事務局（独法）資本の部の設立団体出資金ということで、95,235,850円でございますが、そのうちの85,235,850円が現物出資で、10,000,000円が金銭出資でございます。

委員長 委員よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。今のところそう複雑に営業費用ですとか営業収益がございませんので、何かということは無いと思いますので、よろしいかなと思います。皆さんご異論なければ、特別ご意見無いということでよろしいでしょうか。《委員承諾》ありがとうございました。それでは第3議題を終了させていただきたいと思っております。次に最後のその他ということになるのですが、事務局何かありますか。

事務局（市） 次回の評価委員会の日程調整について説明（7月下旬～8月上旬）

委員長 よろしいでしょうか。また、今、いただいた中で評価委員会を開催したいという事務局の意向でございます。何か、皆様方からございますでしょうか。また、次回に事務局のほうから説明を求めたい内容がございましたら、ご質疑いただければと思います。よろしいでしょうか。それでは本日の予定された議題が全て終了いたしましたので、これにて閉会をさせていただきたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。